



『最後の楽園』（2月14日）を振り返って・・・

校外学習実行委員会で「校外学習のルールづくり」の話し合いを行った。「ゲームもいいよね」「先生に分らなければいいんだろ」と勝手な発言が続き、小笠原に旅行したときのことを思い出す。イシガキダイ釣りに父親と挑み、やっとの事で十分に大きなイシガキダイを釣り上げた。しかし、父親は写真などをとった後、逃がしてしまった。どうして？と思う僕に「持ち帰れるのは5キログラム以上」という小笠原の釣り人だけのルールを教えてくれた。日本の近海ではほとんど見かけなくなった大きなイシガキダイは、小笠原だけで釣ることができる。釣り人たちが決めた、罰則のない、取り締まりもないルールが守られていることで、イシガキダイの「最後の楽園」が残されていた。

＜みんなの感想より＞

- ルールというものは、自分から守ろうと思うことが大切だと思った。また、ルールがなくても、今後のことを考えたりして、自分の心の中でルールを決めるのもいいのではないかなと思った。（男子）
- よく、ルールは自分たちを守るためにあると言うけど、自分たちを縛るものでもあると思います。守るために縛る抑止力。ルールを作る人間によって、それは180°変わるもので、だからこそ自分の上に立つ人はしっかり選ばなければいけないと思いました。（女子）
- 法やルールはみんなが自然に守れる法がいいし。この世界に、ルールがあって良かったと思います。だから、人がまとまって暮らせるっていいと思う。（男子）
- ルールや、決まりは社会が乱れないようにするためのもの。簡単にルールをやぶっていく人がたくさんいるけれど、私はちゃんと守りたいと思っている。取り締まるのはいいと思うけれど、そういうことをしなくてもいいような社会を目標としていろんな人々は進んだらいいと思う。（女子）
- この場所を守るのは自分たち・・・と書いてあった。学校を守るのも自分たちと感じた。（男子）
- いつもの道徳より難しい話だった。楽園を守るためには、自分たちが自分たちで守らなければいけないのだと思った。でも、校則はあまり変えなくてもいいと思う。一定の人だけが楽しめるのはおかしいと思う。（男子）
- ルールを守ることがどれだけ大切であるかが分かった。みんな、一人一人がルールを守ることで、人間も動物もみんなにとって生きやすい場所を作り上げていくことができるのだと思った。これから、ルールや法をしっかりと守っていきたい。（女子）
- 島の人々がどれだけイシガキダイを大切にしているか分かった。僕らに重なるところがあるので、参考にしたい。（男子）
- ルールは、自分たちから守っていかないといい方向に変わっていかないと考えた。みんなが楽しく過ごせるようにするために、ルールがあるということが改めて分かった。私はまず、学校のルールをしっかりと守っていかうと思った。（女子）
- ルールは、そこにいるそれぞれの人間がしっかり話し合い作るべきだと思いました。網に穴が開かないように。（男子）
- 法律やルールはみんなが安心して生活するためのものだから、「気付かれなかったらイヤ！」と思うのではなくて、法律やルールをしっかりと守っていきたいと思いました。（女子）
- 学校の校則は、しっかりと守って、規則がある意味を考えて生活していききたい。（男子）